

## 指定行に長体処理 ボタン版.jsx

### スクリプトの配置場所

#### Windows10の場合

C:\Program Files\Adobe\Adobe Illustrator CC xxxx\Presets\ja\_JP\スクリプト

#### Macintoshの場合

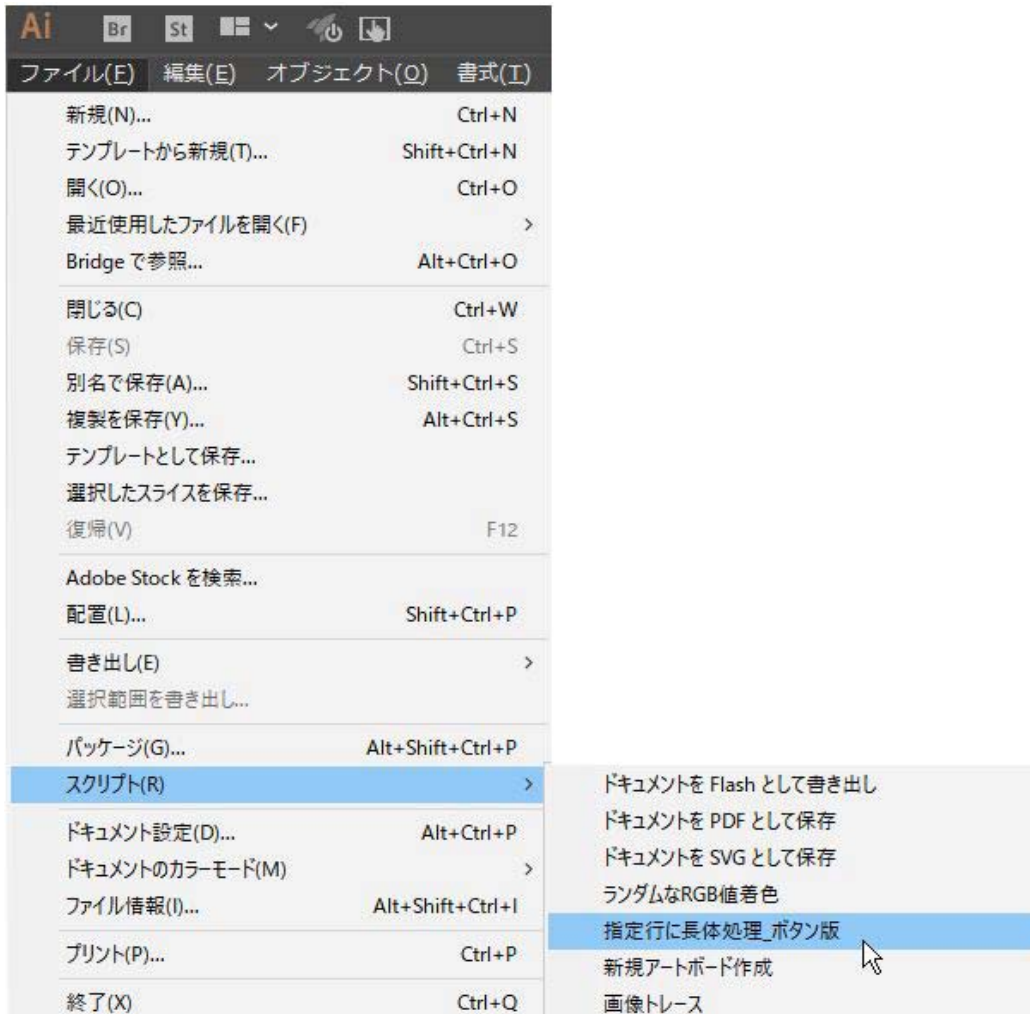
/Applications/Adobe Illustrator CC xxxx/Presets.localized/ja\_JP/スクリプト

※xxxx はバージョン。バージョンによっては和名になっているものもあります。

上記に配置後Illustratorを再起動し、ファイルメニューから実行してください。

以下Windows10、Illustrator CC 2018 の組み合わせで操作方法を説明します。

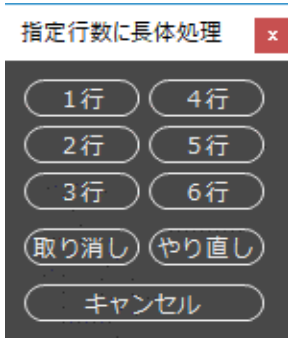
1.ファイル > スクリプト > 指定行に長体処理\_ボタン版 と辿ります。



※ドキュメントが開いてないとエラーになります。

2.下図のようなウィンドウが開きます。

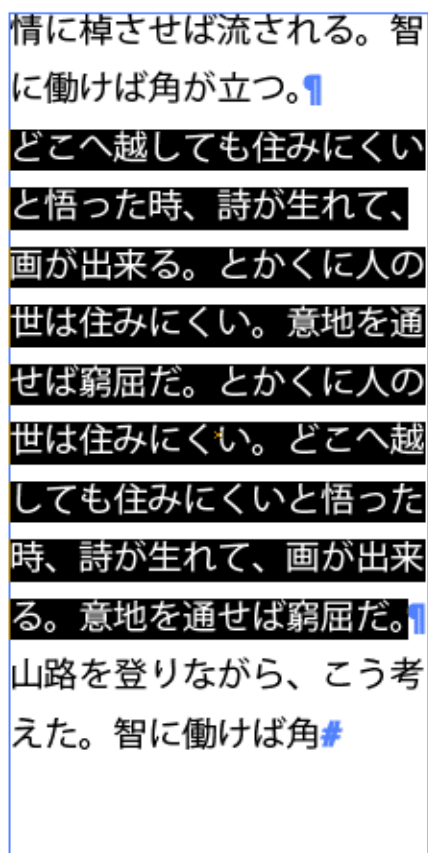
ウィンドウはモードレスなのでウィンドウを開きっぱなしでもIllustratorの作業が行えます。



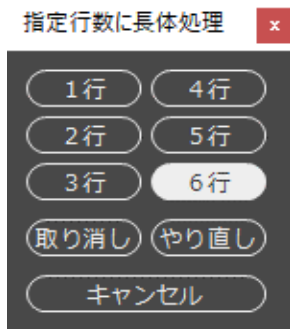
3.Illustratorの任意ドキュメントを開き、長体処理を行いたい段落を選択します。

このとき改行マークは選択しないようにしてください。

改行マークを選択すると、次の行の文字として認識されエラーが表示されます。

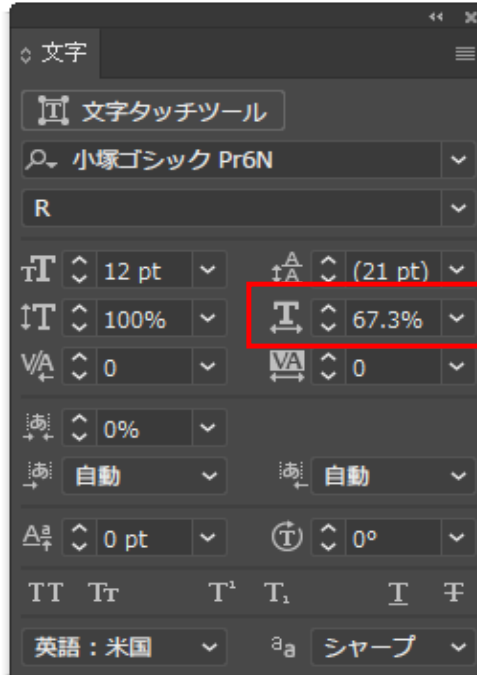
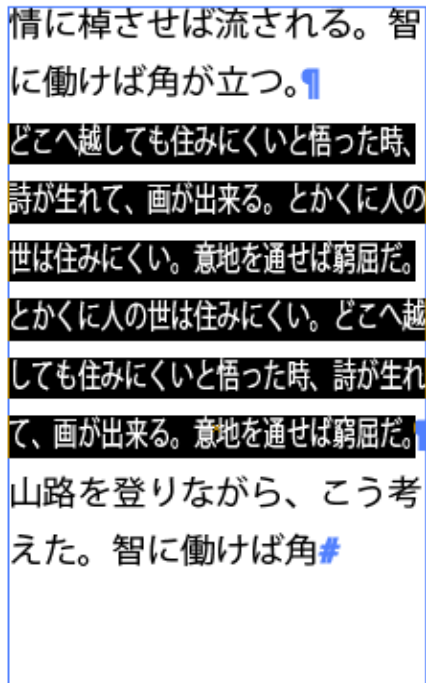


4.処理を行いたい行数のボタンを押下します。



5.指定した行数になるまで0.1%刻みで長体処理を行います。

※文字数が多いと少々時間がかかります。

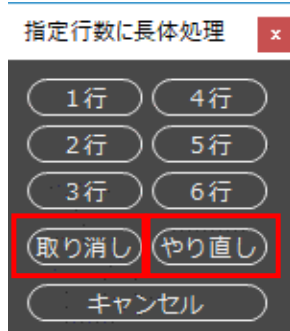


6.「取り消しボタン」で取り消しを、「やり直しボタン」でやり直しが行えます。

※編集メニューの「取り消し」「やり直し」と同じ機能です。

※少ない数値に長体をかけることは可能ですが、大きい数値への長体は不可です。

例 6行 → 5行 → 4行 ○ 1行 → 2行 → 3行 ×



キャンセルボタンを押下するとウィンドウが閉じます。

## JSXファイルへのバージョン別の記載

JavaScriptのソースコードにIllustratorのバージョン別の記載が必要になります。

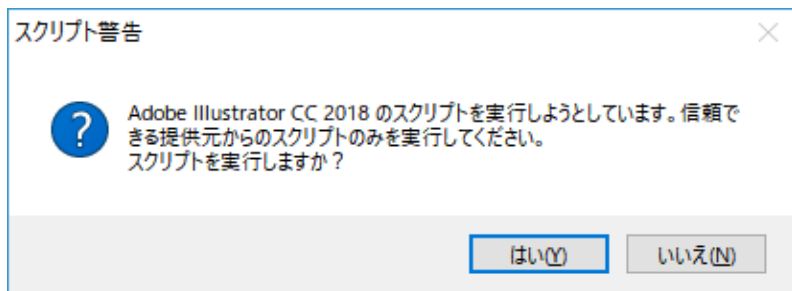
1. JSXファイルをダブルクリックで開きます。



指定行に長体処理\_ボタン版.jsx

2. 下図のようなアラートが表示されるので「いいえ」を押下します。

ExtendScript Toolkit で開きます。



▼1、57、65、78行目の数値がIllustratorのバージョン番号になります。

1 #target **illustrator-22** ※ - (ハイフン) xx (バージョン番号) が必要  
2 #targetengine main

```
54 //▼取り消しボタンが押されたとき
55 undoBtn.onClick = function () {
56     var bridgeTalk = new BridgeTalk(); //BridgeTalkを使用
57     bridgeTalk.target = "illustrator-22";
58     bridgeTalk.body = "undo()";
59     bridgeTalk.send();
60 };
61
62 //▼やり直しボタンが押されたとき
63 redoBtn.onClick = function () {
64     var bridgeTalk = new BridgeTalk(); //BridgeTalkを使用
65     bridgeTalk.target = "illustrator-22";
66     bridgeTalk.body = "redo()";
67     bridgeTalk.send();
68 };
69
70 //▼キャンセルボタンが押されたとき
71 cancelBtn.onClick = function () {
72     win.close();
73 };
74
75 //▼長体処理関数 BridgeTalk
76 function btProcess() {
77     var bridgeTalk = new BridgeTalk(); //BridgeTalkを使用
78     bridgeTalk.target = "illustrator-22";
79     bridgeTalk.body = "setbtnvalue(num);";
80     bridgeTalk.send();
81 }
```

参考

CC 2018 は -22  
CC 2017 は -21  
CC 2015.3 は -20  
CC 2015 は -19  
CC 2014 は -18

以下のバージョンは  
ハイフンも  
バージョン番号  
も不要。

CC(64bit)  
CC  
CS6

"illustrator" の記載で  
大丈夫ですが、  
前後の " は必要です。

## 長体率

現状0.1%刻みで処理しますが、JavaScriptのソースコードの93行目を書き換えれば任意の数値にすることができます。

```
92 while (sel.lines.length > num) { //指定した行数になるまで-1づつ長体をかける  
93     sel.horizontalScale -= 0.1;  
94 }
```

## 動作確認

動作確認済みの組み合わせは以下です。

### Windows10

CS6(CC同梱版)、CC、CC(64bit)、CC 2014、CC 2015、CC 2015.3、  
CC 2017、CC 2018

### macOS High Sierra 10.13.3

CC 2017、CC 2018

### OS X El Capitan 10.11.6

CC 2017、CS6(CC同梱版)

※OSとバージョンに組み合わせで若干のUIの差異がありますが、

動作に支障はありません。

左上にボタンが並ぶMacではタイトル文字が切れます。。。

